



News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA, 1-12-3 KANDA NISHIKI-CHO, CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 477号

2014. 10. 14

発行責任者

岸田 義典

目次

2014

Vol. 8

- ラオスの畑作産業
ーこれから開発が進む国の農業ー
国際農林水産業研究センター 松本成夫氏..... 2
- 第18回 CIGR 世界大会：北京にて開催
(株)新農林社社長 岸田義典氏 10
- 国別輸出入 (2014年7/8月) 12
- WORLD NEWS 23
- EVENTS CALENDER 26

ラオスの畑作物生産 —これから開発が進む国の農業—

国際農林水産業研究センター
松本成夫 氏

国際農業機械化研究会は、(株)新農林社と共催で、第 477 回海外農業機械事情報告会を平成 26 年 9 月 25 日（木）に開催した。講師は、国際農林水産業研究センターの松本成夫氏。同氏は、ラオスの「インドシナ農山村における農家経済の持続的安定性の確立と自立度向上」プロジェクトに参画。2012 年から年数回現地へ赴き、状況を調査している。今回は、「ラオスの畑作物生産—これから開発が進む国の農業—」と題して、資料と写真をもとに現地の様子を報告した。要旨は以下の通りである。

ラオスは開発途上地域です。農業機械はこれからというところです。私の専門は土壌肥料と作物栽培です。私たちのプロジェクトでは、5～6人が長期で現地に滞在していますが、私の場合は、年に4、5回、一回当たり3～4週間程度の短期で研究を行っています。政策より、農家調査をするのが好きなので、そちら側からの話になります。

ラオスの概要

ラオス人民民主共和国はタイとベトナムに挟まれた国（図1）で、面積は23万6,800km²、本州とほぼ同程度の広さです。総人口は2008年の統計で632万人。現在は700万人に近づいていると思います。この数は千葉県の人と同じです。本州に千葉県民がいるという感覚で捉えていただくと想像できるかと思います。一人当たりのGDPは2,204米ドル（日本は3万8,491米ドル）です。農業は全人口の78%、GDPの41%を占めています。

ラオスで仕事を行う際、難しいのが、多くの民族がいることです。公称49民族。ラオス人のほとんどはラオ族で、ラオス語を話し、低地で水田を営んでいます。山間地にはいろいろな民族がおり、自称民族も数えると800以上になります。最近、移住政策により、山岳民族が低地に移り住むようになりました。隣の村の言葉がわからないこともあります。私たちが現地調査で農家を訪ねる際、ラオスの共同研究者と一緒にいきますが、言葉が通じず、通訳を入れなければならないこともあります。習慣が違う、

やっつけないことも違うこともあります。

経済

1975年にラオス人民民主共和国が成立しました。社会主義国家としてスタートしましたが、1986年に「チンタナカーン・マイ」という新思想政策が始まり、資本主義的な要素を取り入れるようになりました。社会主義ですので、土地はすべて国のものですが、その新思想政策により、1986年に森林法、1987年に土地法が制定され、土地の使用権は売買可能となりました。これによって、経済発展を期待

図1 ラオス

